

## 評価結果概要表

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500162
法人名	社会福祉法人 はぴねす福祉会
事業所名	グループホーム LOHAS・KOTI
所在地	愛媛県新居浜市船木甲2216-39
自己評価作成日	平成24年2月13日

※事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年3月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日当たりの良い、自然に囲まれた静かな環境があり、季節を感じながら、穏やかに過ごしている。利用者一人ひとりに寄り添いながら、小さな事でも共感し合える姿勢を心がけている。また家族とも自然と本人と一緒に支えていくような関係作りを目指している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 運営推進会議で外部評価の結果報告を行った際には、ご家族から「行事に家族の参加を呼びかけてはどうか」「家族に近況を報告してはどうか」等の意見をいただいた。4月から、2ヶ月に1回、ご家族へ送付する書類にお手紙を同封して、利用者ご本人の暮らしの様子や行事予定を知らせるように取り組まれている。今年1月から写真も同封されており、「家族から『様子がよくわかる』と感想をいただいた。」
- 玄関には、チューリップ等のお花や観葉植物、食堂や居間にも観葉植物を配して緑の多い空間を作っております。食堂からは中庭が眺められ開放感があり、対面式キッチンで台所の様子もよく見える。和室には、利用者と職員で飾ったお雛様の段飾りがあり、居間には子供の着物をかけておられた。居間は広めの造りで、みなでタオル体操を行うこともあり、利用者は、「広いからここを歩くだけで運動になるのよ」と、話してくださった。全館に床暖房が整備されており、足元が暖かく過ごせるようになっている。

## V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	<p>1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの <input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない</p>	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9, 10, 19)	<p>1. ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない</p>
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	<p><input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない</p>	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	<p>1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに <input checked="" type="radio"/> 4. ほとんどない</p>
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<p>1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	<p>1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> 3. あまり増えていない 4. 全くいない</p>
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<p>1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目：11, 12)	<p>1. ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどない</p>
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<p>1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない</p>	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない</p>
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で安心なく過ごせている (参考項目：30, 31)	<p>1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない</p>	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>1. ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない</p>
62 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<p>1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない</p>		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはできません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職 員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でプラスアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容を P R !!!

- サービス向上への 3 ステップ -

事業所名 グループホーム LOHAS・KOTI  
(ユニット名) 西の家

記入者(管理者)

氏 名 篠原 里恵

評価完了日 24 年 2 月 15 日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>「SAFTY(安全)」・RELAX(くつろぎ)・HAPPY(幸福)の事業理念のもと、職員独自の理念として、「今日一日をその人らしく」・「同じ目線・同じ歩幅でゆっくりと」を目標に、職員一人ひとりがその意味を理解し、実践できるように努力している。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>事業所理念をもとに、職員でケアについて話し合い目標を決めておられ、玄関に入ったところに掲示されている。管理者は、地域との交流について、「もっと利用者と地域行事に参加して、地域の方達と交流したい」と考えておられた。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>地域のスーパーには、利用者と一緒に食材を購入しに行っている。顔なじみとなり、会話できる様になった。美容院やお菓子店も利用している。過疎地区の急な坂の上に施設があり、地域住民は立ち寄りにくいが、運営推進会議には、地区的自治会長さんが参加してくれている。</p> <p><b>(外部評価)</b></p> <p>琴や三味線、尺八ボランティアの方が来てくれる際には、利用者も曲に合わせて歌う等して楽しい時間を過ごしている。又、校区の盆踊り大会には、利用者と職員が参加して地域の方達と一緒に踊って交流された。秋祭りは、事業所の駐車場に太鼓台が来てくれて、利用者は太鼓台に触れたり太鼓を叩いたりしてたいへん喜ばれた。隣接する母体施設に、保育園児が来る時には出かけて行き、ふれ合えるよう取り組まれている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p><b>(自己評価)</b></p> <p>問い合わせや電話相談・見学などには、丁寧に対応し、地域の人が立ち入りやすい場所であることを理解してもらえるように努めている。職員の実践経験が浅く、地域に向けての活動は行えていない。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)  自治会長、民生委員、利用者、ご家族、地域包括支援センターの方に参加して頂いている。行事報告や、意見交換を行っている。おたよりを出し、運営推進会議への参加をお願いしているが、ご家族の参加は同じ方のみとなっている。  (外部評価)  運営推進会議は、奇数月の第3土曜日、10時からと決めて行っておられる。会議では、事業所の現状や行事の報告、外部評価の結果報告等を行い、意見をいただいている。事業所から「地域との関係作り」の取り組みを報告された際には、自治会長やご家族から「盆踊り大会のように、地域のイベントに参加してはどうか」等とアドバイスをいただいた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)  市の介護相談員の受け入れを行い、共に、サービスの質の向上に努めている。日常的な相談や連絡、報告は電話や実際訪問し行っている。  (外部評価)  運営推進会議時、地域包括支援センターの担当者の方に介護保険法の改正や要介護認定調査について説明をしていただいた。又、3ヶ月に1回、市の介護相談員が来られて、利用者のお話を聞いてくださっており、利用者からは「聞いてもらって安心した」という感想も聞かれるようだ。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は、両ユニットごとの生活空間として、玄関の施錠は行っている。庭への出入り口は開放され、いつでも自由に出入りできるが、屋外は、崖や急な坂道となっている為、利用者の安全を守る為に、ご家族にも理解してもらっている。夜間は両ユニットが行き来できるように開放している。動きたい利用者には寄り添い、見守りながら、行動制限しないように努めている。  (外部評価)  事業所の玄関は、鍵をかけず入りできるようにされているが、両ユニットの出入り口は、以前、気ままに外に出て行こうとした利用者があったため、現在も施錠されている。	管理者は、両ユニットの出入り口とともに、「ユニット間の仕切り」についても見直しを考えておられる。この機会に、事業所の環境について利用者主体になっているか、という視点から職員で点検されたり、意見交換するような機会を作つてみてはどうだろうか。又、拘束については、ご家族も一緒に勉強するような機会を作り、事業所全体で拘束のないケアの実践に取り組んでいかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  高齢者虐待について、研修を通して、職員が共通理解できるように努めている。また、職員の関わり方が、利用者に影響を及ぼしていないかどうか、ケース会等を通して、振り返る機会を持つようにしている。	
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在、具体的な事例は無いが、研修会に参加した職員もいる。今後は勉強会を通して、職員の理解を深めて行きたい。	
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  入所前に、重要事項の説明を十分行い、利用者やご家族に十分理解していただいたうえで、契約書を交わしている。また、疑問や相談があれば、その都度対応している。	
9			(自己評価)  面会時などに、ご家族の意見や思いを汲み取る機会を設けている。また、利用者との日々の関わりを通して、意見や要望を聞き、ケース会や職員会で検討し、サービス向上に努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  運営推進会議で外部評価の結果報告を行った際には、ご家族から「行事に家族の参加を呼びかけてはどうか」「家族に近況を報告してはどうか」等の意見をいただいた。4月から、2ヶ月に1回、ご家族へ送付する書類にお手紙を同封して、利用者ご本人の暮らしの様子や行事予定を知らせるように取り組まれている。今年1月から写真も同封されており、ご家族から「様子がよくわかる」と感想をいただいた。さらに、法人のホームページにも事業所の行事や取り組みの様子の写真を載せておられ、ご家族にも閲覧できることを伝えておられる。  (外部評価)  運営推進会議で外部評価の結果報告を行った際には、ご家族から「行事に家族の参加を呼びかけてはどうか」「家族に近況を報告してはどうか」等の意見をいただいた。4月から、2ヶ月に1回、ご家族へ送付する書類にお手紙を同封して、利用者ご本人の暮らしの様子や行事予定を知らせるように取り組まれている。今年1月から写真も同封されており、ご家族から「様子がよくわかる」と感想をいただいた。さらに、法人のホームページにも事業所の行事や取り組みの様子の写真を載せておられ、ご家族にも閲覧できることを伝えておられる。	食事や外出、日中の過ごし方やケアについて等、ご家族の希望や要望等を具体的にお聞きするような取り組みも工夫されてみてはどうだろうか。管理者は、ご家族の「言い出しつらい心情」をよく理解されており、今後さらに、ご家族の声を引き出して運営に取り入れていくような取り組みが期待される。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  職員会で、活発に意見交換できるように、日頃から、話しやすい環境を作るよう心がけている。また、職場環境については、働きやすいように、職員の意見や提案を前向きに検討し、運営に反映できるように努めている。  (外部評価)  月1回の職員会では、「感染症について」等、テーマを決めて勉強会を行っておられる。職員からの提案で、遅出の勤務時間を30分繰り上げて、日中の職員の人手を手厚くされて、日中のケアの充実に取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)  代表者は、管理者や職員の実績や勤務状況等を把握している。また、現場の要望に応じて、可能な範囲で環境の改善に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  職員一人ひとりの力量に合わせ、事業所内外の研修に参加する機会を設けている。習得した、技術やケア方法などは、現場で実践につなげている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)  地域密着型サービスの研修会に参加し、意見交換を行っている。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)  本人やご家族からの要望や、不安などに耳を傾け、サービス内容と一緒に考えるように努めている。また、ゆっくり話しを聴くことで、信頼関係構築にも繋げている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)  本人のできる事できない事を把握し、本人の要望を踏まえながら、ご家族の要望にも応えられるようにケアプランを作成し、同意を得ている。また、面会時や電話などで、相談に応じ、家族との関係作りにも努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  本人やご家族と話し合い、状況を観察、把握しながら必要と思われる支援を見極めよう努めている。福祉用具や、医療系サービスについても、そのニーズに応じて利用してもらっている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いていく	(自己評価)  掃除や調理、洗濯たたみ等、利用者各々のできることで支え合えるような関係作りに努め、無理なく継続できるように対応している。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  本人と家族の関係を十分理解し、報告・相談を密に行い、面会や外出を依頼したり、共に支援していくようにしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)  今までの馴染みの場や関係が切れてしまっている状態の利用者が多いため、訪問マッサージの継続や、馴染みの方の面会、受診の際に、自宅の近所へ行ったりしている。  (外部評価)  遠方に住むご家族から、毎週、手紙が届く利用者があり、調査訪問時には、同封されていたお孫さんの写真を笑顔で見せてくださった。馴染みの美容院に出かける利用者は、職員が送迎されている。入居前からピアノを習っている利用者の方は、先生が送迎してくださっていて、先生のご自宅でレッスンを受けて、先生と外食して帰ることもある。又、職員は、「故郷に行ってみたい」というご本人の気持ちをご家族に伝えたこともあり、ご家族は、故郷の昔の知り合いと会う機会を作ってくださいました。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		(自己評価)		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を考慮しながら、気持ちよく一緒にすごせるように支援している。	
		(自己評価)		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次のサービスを探したり、引き継ぐ等の支援をしている。サービスが終了された利用者や家族とも、必要に応じて、相談や支援に努めている。	
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
		(自己評価)		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、本人の表情やしぐさから、その人の思いを把握するように努めている。	
		(外部評価)		
			職員は、普段の会話から利用者の希望や意向を把握できるよう努めておられ、日々の記録には、ご本人の言葉が記録されている。	職員は、利用者個々の思いや希望をもとに、個別ケアにつなげて取り組んでいきたいと考えておられた。利用者の日々の会話や表情、しぐさ等から汲み取ったご本人の思いや意向、希望を職員間で共有して、理念のさらなる実践に向けて取り組んでいかれてほしい。
		(自己評価)		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の本人や家族の聞き取り調査をもとに、日々の関わりの中から、本人を知るような働きかけをしている。	
		(自己評価)		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃の関わりや観察を行い、職員全体で情報を共有し、一人ひとりに合わせたケアに努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)  利用者、ご家族からの思いや意向を汲み取り、ケース会で見直しを行い、介護計画に反映させるように努めている。  (外部評価)  介護計画は、利用者やご家族の希望や意見を採り入れて作成されており、月2回のケース会でモニタリングを行い、3～6ヶ月に1回、見直しを行っておられる。お若い頃、看護師で活躍されていた利用者が、職員の血圧を測ってくださる等、これまでの経験を活かして、活躍できる場面作りに取り組まれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)  個別記録は、介護計画に反映させるように努めているが、気づきや考察の記入が少ないのが現状である。職員間で情報を共有しながら、日々のケアに活かしていくように努めている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)  本人や家族の個別事情や、ニーズに対して、できる限り柔軟に対応できるように努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)  本人の希望に応じて、理美容サービスを利用している。馴染みのピアノの先生に送迎していただき、レッスンを継続している利用者もいる。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		(自己評価)		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医がいる場合は、通院介助は家族にお願いしているが、状況に応じ職員が対応している。受診結果は、記録し、家族と共有している。	
		(外部評価)		
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
		介護職員は、利用者の日々の状態把握や様子観察を行い、異常の早期発見に努めている。異常の際には、家族とも相談し、受診するように連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。また、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
		家族と連絡を取り合い、状態を把握し、医療関係者と連携をとり、退院に向け調整している。		
		(自己評価)		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に事業所の方針を説明している。状態に変化が見られる時は、その都度話し合い、意向を確認しながら事業所でできる支援について説明している。	
		(外部評価)		
		事業所では、利用者を、「法人全体で支えていきたい」と考えておられ、ご家族の希望で法人内の特養や保健施設へ申し込んでいる場合もある。又、「ホームで最期まで過ごしたい」と希望される利用者やご家族には、医療機関と連携して看取りまで支援されている。昨年11月には、事業所で初めて看取りを支援されており、ご家族も事業所に泊まり、協力し合って看取られた。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的にを行い、実践力を身に付けています	(自己評価)  夜勤時の緊急対応は、マニュアルを作成し、職員へ周知しているが、具体的な勉強会や訓練は実施できていない。	
34		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  事業所の防災設備は整っているが、地域との連携は構築されていない。  (外部評価)  年2回、日中や夜間を想定して避難訓練を実施されている。緊急時の職員の連絡網を整備されており、今後は、連絡網が機能するか試してみられたり、隣接の母体施設と共同で訓練を行い、協力体制を整備する予定となっている。管理者は、運営推進会議時に、地区的災害対策等についても教えていただきながら、地域との協力体制を築いていきたいと考えておられた。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
35	13	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  利用者一人ひとりを大切に思い、言葉のかけ方や姿勢に留意するように努め、プライバシーに配慮するように心がけている。  (外部評価)  調査訪問当日、誕生日の利用者の方がおられ、ご本人からのリクエストで、昼食はカレーライスを利用者と一緒に作っておられた。職員は、利用者の方に「○○さんが、ジャガイモを切ってくれたから美味しいね。ありがとう」と声をかけておられ、利用者は、職員に「おいしいよ。ありがとう」と声をかけられ、感謝し合ったり労っておられる様子がみられた。	
36	14	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  利用者の話をゆっくり聞くように努め、本人の希望や本人が選択できるような場面作りに努め、自己決定できるようにしている。	
37				

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  利用者の生活リズムを大切にしながら、その日の状態に応じた対応を心がけている。	
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  利用者の希望や意思を聞きながら、本人の身だしなみをサポートしている。本人のなじみの美容院で、カットや毛染めをしてもらったりしている。	
39			(自己評価)  普段は、隣接施設からの配食で、利用者には、食事の準備や後片付けなどしてもらうようにしている。職員も共に食事をし、楽しい雰囲気作りに努めている。行事食やお誕生会には、本人が食べたい物を献立に取り入れ、利用者と共に食事作りをしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  朝食は、職員が献立を考えて、利用者と食材の買い物に岡かけておられる。又、昼食は、月2~3回、行事や誕生会等で食事を手作りされている。普段の昼・夕食は、隣接施設から出来上がった食事が届き、事業所ではご飯を炊いたり、汁物を温める等されている。職員は、お弁当を持参して利用者と一緒に食べておられる。食後、利用者はご自分で下膳をされたり、食器を職員と一緒に洗ったりされている。  (外部評価)	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  一人ひとりの食事量や水分量を記録し把握している。水分摂取量の少ない利用者には、好みの飲み物を提供するなど工夫している。一人ひとりに合った食事形態を把握し、提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後の歯磨きの声かけを行い、個々に合わせて支援を行っている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			(自己評価)	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄記録表を活用しながら、時間や習慣を把握し、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。	
			(外部評価)	
			職員は、排泄記録表を確認したり、個々の排泄のサインを見逃さないようにして、利用者がトイレで排泄できるよう支援されている。全居室にトイレが付いているが、日中、食堂や居間で過ごされる方は、共用のトイレを使用される。トイレの中には、ホットキャビが設置されており、清拭するためのホットタオルを準備されている。	
			(自己評価)	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を心がけ、飲み物を工夫している。日中、屋内外への散歩やリハビリ体操をして、身体を動かす機会を設けている。	
			(自己評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望に沿うように対応している。体調に合わせ、シャワー浴や清拭も行っている。	
			(外部評価)	
			入浴を好まれる利用者が多く、季節によってはゆず湯等も楽しめている。2日に1回、午後から入浴できるよう支援されており、希望があれば午前中でも入浴できるようになっている。着替えの準備は、できるだけ自分で行えるよう支援されており、洋服選び等も職員がサポートされている。	
			(自己評価)	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態を確認しながら、休息時間を設ている。夜間は良眠できるように、日中の活動性に配慮している。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  一人ひとりの服薬内容を把握できるように、受診ごとに目を通し個人ファイルに処方された薬の情報を確認できるようにしている。飲み忘れないように服薬確認もチェックしている。薬の変更がある時は、症状変化に気をつけている。	
47		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)  好きなことや興味のある事の把握に努め、食事の準備や洗濯たたみ、掃除等、生活の中に役割を設けている。	
		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外にかけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  季節を感じられるように、併設施設の行事に参加したり、散歩に出かけたりしている。日々の買い物や、家族の支援で、外出されたりもしている。  (外部評価)  気候のよい季節には、中庭や敷地内を散歩されている。又、プランターで野菜を育てたり、いちごの苗の植え付けもされた。又、夏には屋外で花火を楽しむ等されている。初詣や季節に応じて桜や菖蒲、あじさい等のお花を見に出かけたり、紅葉狩り、イチゴ狩り等、少し遠くまでドライブを兼ねて外出をされている。	
49	18	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  金銭管理ができる方には、ご自身で管理してもらい、買い物や通院でご自身で支払えるように支援している。お礼と言ってお金を差し出す利用者もおられる。	職員は、「個別に喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり、外食できるような機会も作りたい」と考えておられる。さらに、利用者個々の懐かしい場所や思い出の場所等も探し、出かけてみるような機会を作ってみてはどうだろうか。時には、ご家族等もお誘いしてみてはどうだろうか。
50		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  利用者の希望で職員が電話をかけたり、本人自ら電話をかけたりされる方もいる。積極的支援はできていない。	
51				

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		(自己評価)		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った物を飾ったり、一緒に作ったりしている。居室や廊下には、太陽光が差し込むようになっており、日当たり良く心地よい環境になっている。	
		(外部評価)		
		玄関には、チューリップ等のお花や観葉植物、食堂や居間にも観葉植物を配して緑の多い空間を作つておられる。食堂からは中庭が眺められ開放感があり、対面式キッチンで台所の様子もよく見える。和室には、利用者と職員で飾つたお雛様の段飾りがあり、居間には子供の着物をかけておられた。居間は広めの造りで、みなでタオル体操を行うこともあります、利用者は、「広いからここを歩くだけで運動になるのよ」と、話してくださいました。全館に床暖房が整備されており、足元が暖かく過ごせるようになっている。		
		(自己評価)		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士で話したり、居室やリビング、中庭等、思い思いでくつろげる場所がある。	
		(外部評価)		
		使い慣れた物や、馴染みの家具や家族写真などを置いている。居室にパチンコ台やピアノを置いている利用者もいる。		
		(自己評価)		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月フロワー アレンジメントの日があり、各自が生けた花を、各居室の入口の棚に飾つておられた。個々にテレビや箪笥、椅子等を持ち込んでおられ、男性の利用者の中には、パチンコ台をご自宅から持つて来られている方もある。又、俳優の写真とご主人の写真を並べて飾つて、「主人に似てるんですよ」と見せてくださる方もあった。ピアノを持ち込んでおられ、練習されている方もいる。利用者が居室にいない時を見計らって、午前中、1~2時間は換気されており、又、利用者はモップ等を使って、職員と一緒に掃除をされている。居室も床暖房が設置されており、室温や足元も暖かくなっていた。	
		(外部評価)		
		(自己評価)		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかるこ	できる事やわかる事を活かし、利用者同士が助け合つたり、生活役割を持って頂き、できるだけ自立した生活が送れるように支援している。	